

平成27年度 大分市公共下水道事業会計 当初予算のポイント

資料1

経営状況等

平成27年度大分市公共下水道事業会計当初予算につきましては、収益的収支で約1億2千万円の純損失を計上しますが、内部留保資金繰越額は約13億円を確保する見込みです。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、単年度の建設改良費を汚水30億円、雨水を合わせても40億円以内に抑えるとともに、平成29年度には収益的収支を黒字化する等の目標達成に向け、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上をはじめ、業務執行方式の見直し、職員の適正配置等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成27年度当初予算
人口普及率	61.9%	60.8% (平成26年度末見込み)
水洗化率	91.7%	89.2% (平成26年度末見込み)
収支バランス	収益的収支を「黒字」	123,577千円の赤字
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	401,239千円

※平成25年度に平均改定率13.0%の使用料改定を実施し、平成29年度に再度13%程度の改定を計画している。

平成27年度 当初予算の状況

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成26年度	増減	説明
収入	11,913,124	11,963,005	△49,881	使用料収入 5,578,806 基準外繰入金 401,239
支出	11,860,275	11,906,278	△46,003	
収益的収支	52,849	56,727	△3,878	
当期純損益（消費税抜き）①	△123,577	△117,412	△6,165	
収入	7,004,953	7,824,093	△819,140	国庫補助金 1,568,800 企業債 3,704,300
支出	10,596,725	11,134,722	△537,997	建設改良費 4,659,829 企業債償還 5,907,403
資本的収支②	△3,591,772	△3,310,629	△281,143	
補てん財源				
前年度からの繰越金	1,316,525	495,677	820,848	
当年度損益勘定留保資金	3,690,576	3,613,527	77,049	長期前受金戻入を除く
計③	5,007,101	4,109,204	897,897	
翌年度への繰越金①+②+③	1,291,752	681,163	610,589	

主な事業

≪ 収益的収支 ≫ 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支

(主な支出)

○ 水資源再生センター包括維持管理業務委託	1,192,059 千円
○ 汚泥運搬・処分業務委託	477,740 千円
○ 使用料徴収事務委託料	262,607 千円

≪ 資本的収支 ≫ 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

(主な支出)

○ 汚水管渠建設費（新設管渠）	1,674,180 千円
○ 大道弁天汚水幹線管渠改築工事（長寿命化）	156,000 千円
○ 中島地区外マンホール改築工事	61,000 千円
○ 弁天水資源再生センター水処理施設増設関連工事	1,869,576 千円

(平成25年度～平成27年度 実施事業)

企業債残高の状況

(単位：千円)

区分	平成27年度			平成26年度	増減
	汚水	雨水			
企業債残高	91,759,786	63,664,203	28,095,583	93,962,888	△2,203,102
うち建設企業債	79,041,748	53,465,581	25,576,167	81,520,666	△2,478,918
うち資本費平準化債	12,718,038	10,198,622	2,519,416	12,442,222	275,816